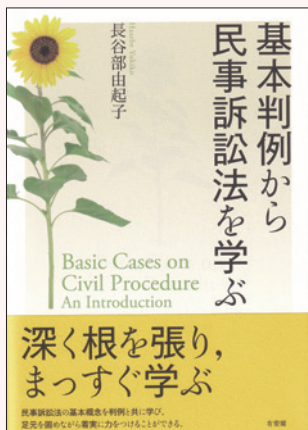


教員著書紹介：基本判例から民事訴訟法を学ぶ



2022年9月発売 有斐閣
ISBN 978-4-641-13883-4



長谷部 由起子 教授

専門分野：民事訴訟法

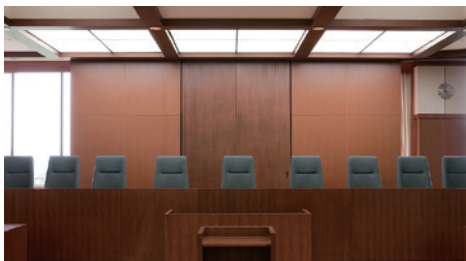
東京大学法学部卒業。1998年より学習院大学法学部教授。2004年より学習院大学法科大学院教授に就任。日本民事訴訟法学会、日本私法学会、金融法学会に所属。

法曹を目指すみなさんにとって、判例を理解することは重要です。判例がどのような法律問題についてどのような判断を示したのか、その判断は学説の見解とはどのような関係に立つものか、学説とは異なる立場が採られているとすると、それはどのような考え方の違いによるものか、判例の見解に対して、学説はどのように反応したのか等々を考えていくと、議論の奥行きがわかり、法律学はおもしろい、と感じられるようになるのです。

こうした思いから、本書では、判例を素材として民事訴訟法の基本原則や重要な概念について解説しています。取り上げた判例は、訴訟代理人・当事者、訴えの利益、二重起訴の禁止、審理の過程、判決の効力・訴訟の終了、上訴・再審、多数当事者訴訟などの28項目に関するもので、判例百選で扱われているような基本的な判例です。各項目を理解する上で重要な概念(キーワード)を掲げ、発展的な学習のための課題とそれに取り組む際に必要な参考文献も付しました。

これから民事訴訟法の勉強を始める人も、ひととおり勉強したけれども理解が不十分だと感じている人も、判例の考え方(判旨)を事件の事実関係と対応させながら読み解いていくことで、民事訴訟法の理解を深めることができます。本書を読みながら、基本書の記述を適宜参照してください。学習効果はさらに上がると思います。

充実した設備



模擬法廷教室

西2号館5階には、地方裁判所とほぼ同じ構造を持つ「模擬法廷教室」があり、「民事模擬裁判」「刑事模擬裁判」等の授業で使用しています。



自習室

セキュリティ管理されている中央教育研究棟9階フロアには「自習室」「ロッカー室」があり、朝7時から夜11時まで利用できます。自習室の座席は1人1席、鍵付(暗証番号式)ロッカーは1人1台を使用することができます。希望する在学生には、ノート型パソコンが貸与されます。



演習室

中央教育研究棟10階に5室あり、自主ゼミ等で利用できます。



法学部・経済学部 図書センター

東2号館にあり、法学、政治学、経済学、経営学に関する専門図書を中心に約67万冊を収蔵しています。法を学ぶうえで必要な各分野の専門書が充実しているほか、判例検索など各種データベースにアクセス(無料)して、最新データを活用しながら学習することも可能です。

学習院大学 法科大学院ガイド VOL.17

発行日：2022年12月1日

発行所：学習院大学法科大学院

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1



👉 学習院大学法科大学院ホームページ